

● Photo sketch ●



9/28 “あきらめないこと” 先輩から学ぶ

駄知中学校を卒業し、俳優として活躍する吉田憲祐さんが、同校で開かれた全校進路学習の講師として招かれ、後輩となる全校生徒215人に進路実現に向けた話をしてくれました。吉田さんは生徒らの質問に対し、夢の実現のために「あきらめないことが一番大事」、「継続し努力することが成功につながる」などと熱心に伝えていました。全員で吉田さん出演の映画も鑑賞し、学習を終えた生徒からは、「失敗を繰り返しながらも自分の夢を実現したことに感動した」、「自分も夢を持って頑張りたい」などの声が聞かれました。



10/6 健康な歯 一生の財産に

歯の優良児童審査会が保健センターで行われ、市内8つの小学校から選ばれた6年生15人が参加しました。歯の状態や歯並び、歯のかみ合わせ、磨き残しの有無などを歯科医師が審査した結果、最優秀賞には、松本和季さん(泉西小)と長江柚季さん(濃南小)が選ばれました。



10/12 だちせんマルシェが大盛況

今年で2回目となる、だちどんぶりフェスティバルが2日間にわたり開催され、市内外から訪れた多くの来場者でにぎわいました。中でも、駄知線の線路跡にテントを連ねたフリーマーケット、「だちせんマルシェ」が大盛況。陶磁器、クラフト雑貨、似顔絵、食品など、昨年の倍以上となる32ブースが出展し、お祭りを大いに盛り上げました。



10/22 優しいあかりに包まれて

今年で12回目となる「あかりのタベ」が市図書館前の土岐川河川敷で開催されました。河川敷には、地元土岐津町の園児・児童・生徒や一般住民のほか、泉町の小学生、妻木陶磁器工業協同組合のメンバーらが制作した約2,000個の灯籠やランプシェード、絵皿などが並べられ、一帯に温かなあかりをともしていました。来場者は、カメラを片手に写真撮影を楽しんだり、親子連れや友達同士で、自分の作った作品を探したり見せたりするなどして楽しんでいました。



9/24 大自然を満喫、大いににぎわう

森林の重要性や自然環境の大切さを知ってもらおうと毎年開催される陶史の森まつり。37回目となる今年は、第70回全国レクリエーション大会in岐阜と同時開催されました。まつりでは、丸太切り体験、木工教室、科学あそび、うさぎと遊ぼうなど、家族で楽しめるさまざまなイベントや、地元で採れた野菜を使ったみそ汁、五平餅やみたらし団子なども販売され、多くの子どもや家族連れでにぎわいました。レクリエーション大会では、チャレンジコース(約2キロ)と、ファミリーコース(約1キロ)の2コースが設けられ、参加者らは自然を満喫している様子でした。また、コースの途中には「ヤッホースポット」があり、参加した子どもたちは元気な声を張り上げていました。



9/30 夢を持って努力、そして感謝

一流のスポーツ選手が子どもたちと交流する「夢の教室」が濃南小学校で開かれ、5年生児童22人が参加しました。この日の「夢先生」は、元プロ野球選手の古木克明さん。全員で知恵を出し合いひとつのことを成し遂げるゲームや、小学3年生のときに抱いた夢を実現した経験談を通じて、子どもたちに「夢を持って努力すること」や、「感謝の気持ちを忘れないこと」の大切さを伝えました。

